

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-129825

(43)公開日 平成11年(1999)5月18日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

B 6 0 R 9/055

識別記号

F I

B 6 0 R 9/055

審査請求 未請求 請求項の数4 O.L (全4頁)

(21)出願番号 特願平9-302105

(22)出願日 平成9年(1997)11月4日

(71)出願人 390005304

ピア株式会社

東京都世田谷区池尻3-21-1-21

(72)発明者 釜谷 正史

東京都世田谷区池尻3-21-1-21 ピア  
株式会社内

(72)発明者 可児 玄

東京都世田谷区池尻3-21-1-21 ピア  
株式会社内

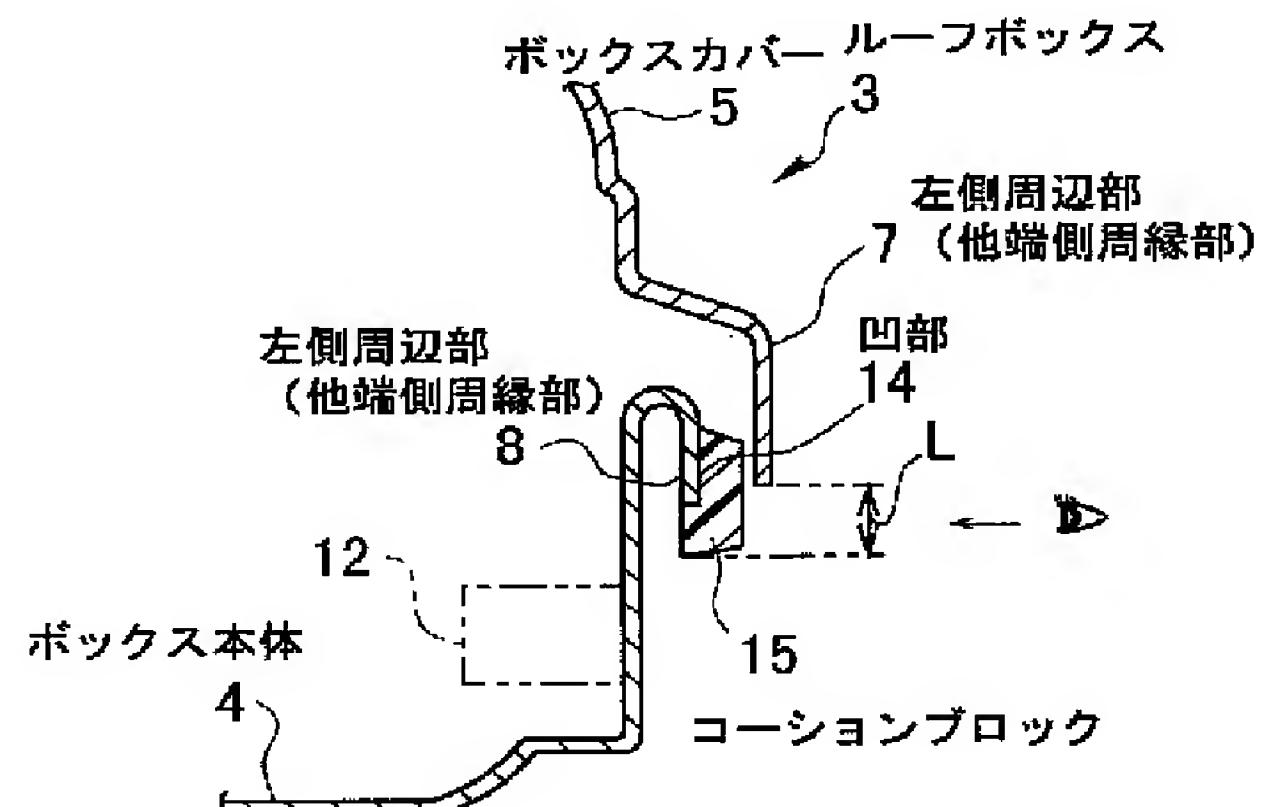
(74)代理人 弁理士 三好 秀和 (外8名)

(54)【発明の名称】自動車のルーフボックス

(57)【要約】

【課題】ボックスカバーの不完全な閉状態を確実に認識することができる自動車のルーフボックスを提供する。

【解決手段】ボックス本体4の他端側周縁部8の外側面に、正規の閉状態におけるボックスカバー5の他端側周縁部7と同一の下端位置を有するコーションブロック15を取り付けたため、ボックスカバー5の閉状態が不完全で、ボックスカバー5の他端側周縁部7が正規位置よりも浮き上がった場合のみ、その他端側周縁部7の下側にコーションブロック15が露出することになる。従って、このコーションブロック15が外側から見えることにより、ボックスカバー5の閉状態が不完全であることを確実に認識することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】自動車のルーフに固定される容器形状のボックス本体と、該ボックス本体の一端側のヒンジを中心にしてボックス本体の上部を開閉自在に覆うボックスカバーとから成り、ボックスカバーを閉じた状態で、該ボックスカバーの他端側周縁部が、ボックス本体の他端側周縁部の外側面を覆い隠す自動車のルーフボックスであって、

前記ボックス本体の他端側周縁部の外側面に、正規の閉状態におけるボックスカバーの他端側周縁部と同一の下端位置を有するコーションブロックを取り付けたことを特徴とする自動車のルーフボックス。

【請求項2】請求項1記載の自動車のルーフボックスであって、

コーションブロックをボックスカバーのロック構造の近くに取付けたことを特徴とする自動車のルーフボックス。

【請求項3】請求項1又は請求項2記載の自動車のルーフボックスであって、

ボックス本体の他端側周縁部の外側面に凹部を形成し、該凹部内にコーションブロックを取り付けたことを特徴とする自動車のルーフボックス。

【請求項4】請求項1～3のいずれか1項に記載の自動車のルーフボックスであって、

コーションブロックが、ボックス本体の他端側周縁部の色及びボックスカバーの他端側周辺部の色と、それぞれ異なる色であることを特徴とする自動車のルーフボックス。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、自動車のルーフに取付けられるルーフボックスに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】最近では、自動車のルーフに荷物収納用のルーフボックスが取付けられることがある。この種のルーフボックスは、ルーフに固定される容器形状のボックス本体と、該ボックス本体の一端側に設けられたヒンジを中心にしてボックス本体の上部を開閉自在に覆うボックスカバーとから成っている（実開平7-8097号公報参照）。

【0003】このルーフボックスには、ボックスカバーの他端側周縁部に設けられたロック部と、ボックス本体の他端側周縁部に設けられたロックプレートとから成るロック構造が設置されており、該ロック部とロックプレートとの係合により、ボックスカバーの閉状態が維持されるようになっている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来の技術にあっては、ボックスカバーを急いで閉めた場合など、ロック部とロックプレートとの係合状態

が不完全となり、ボックスカバーが正規の位置まで完全に閉じられない場合がある。このような不完全な閉状態で、自動車を走行させると、風圧によりボックスカバーが開いてしまうおそれがあるため、好ましくない。

【0005】この発明は、このような従来の技術に着目してなされたものであり、ボックスカバーの不完全な閉状態を確実に認識することができる自動車のルーフボックスを提供するものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、自動車のルーフに固定される容器形状のボックス本体と、該ボックス本体の一端側のヒンジを中心にしてボックス本体の上部を開閉自在に覆うボックスカバーとから成り、ボックスカバーを閉じた状態で、該ボックスカバーの他端側周縁部が、ボックス本体の他端側周縁部の外側面を覆い隠す自動車のルーフボックスであって、前記ボックス本体の他端側周縁部の外側面に、正規の閉状態におけるボックスカバーの他端側周縁部と同一の下端位置を有するコーションブロックを取り付けたものである。

【0007】請求項1記載の発明によれば、ボックス本体の他端側周縁部の外側面に、正規の閉状態におけるボックスカバーの他端側周縁部と同一の下端位置を有するコーションブロックを取り付けたため、ボックスカバーの閉状態が不完全で、ボックスカバーの他端側周縁部が正規位置よりも浮き上がった場合のみ、その他端側周縁部の下側にコーションブロックが露出することになる。従って、このコーションブロックが外側から見えることにより、ボックスカバーの閉状態が不完全であることを確実に認識することができる。

【0008】請求項2記載の発明は、コーションブロックをボックスカバーのロック構造の近くに取付けたものである。

【0009】請求項2記載の発明によれば、コーションブロックがロック構造の近くに取付けられているため、ボックスカバーの不完全な閉状態を、より正確に認識することができる。

【0010】請求項3記載の発明は、ボックス本体の他端側周縁部の外側面に凹部を形成し、該凹部内にコーションブロックを取り付けたものである。

【0011】請求項3記載の発明によれば、ボックス本体の他端側周縁部の外側面に形成した凹部内に、コーションブロックを取り付けたため、コーションブロックの外側への突出量が小さくなり、ボックスカバーの他端側周縁部とボックス本体の他端側周縁部との間の隙間を小さくすることができる。

【0012】請求項4記載の発明は、コーションブロックが、ボックス本体の他端側周縁部の色及びボックスカバーの他端側周辺部の色と、それぞれ異なる色である。

【0013】請求項4記載の発明によれば、コーション

ブロックの色が周囲の色と異なるため、目視による確認が行い易くなる。

#### 【0014】

【発明の実施の形態】以下、この発明の好適な一実施形態を、図1～図5に基づいて説明する。

【0015】自動車のルーフ1には、前後に2本のキャリア2が設置されており、該キャリア2の上に、ルーフボックス3が取付けられている。ルーフボックス3は、前後方向に長いカプセル形状をしており、キャリア2に固定される容器形状のボックス本体4と、該ボックス本体4の上部を覆うボックスカバー5とから成っている。

【0016】ボックスカバー5は、右端側に設けられたヒンジ6を中心にして開閉自在な構造になっている。そして、ボックスカバー5を閉じた状態では、ボックスカバー5の左側周縁部7が、ボックス本体4の左側周縁部8の外側面を覆い隠す構造になっている。また、ボックス本体4とボックスカバー5との間には、前後にガスステー9が設けられており、ボックスカバー5が自動的に開くようになっている。

【0017】ルーフボックス3の左端側には、ボックスカバー5の閉状態を維持するための後述するロック構造が、前後2ヶ所に形成されている。前側のロック構造には、後述する補助のラッチ構造も隣接して設けられているため、以下、前側のロック構造を代表して説明する。

【0018】ボックスカバー5の左側周縁部7には、下向きのロック部10とラッチ部11とが一体的に取付けられている。ロック部10は、ボックス本体4の左側周縁部8に設けられたキーシリングダ12の図示せぬロックプレートと係合するようになっている。また、ラッチ部11は、キーシリングダ12に隣接した操作ボタン13により解除可能な図示せぬラッチプレートと係合するようになっている。これらのロック部10及びラッチ部11は、ボックスカバー5が正規位置まで閉じられた場合のみ係合状態になる。

【0019】また、ボックス本体4の左側周縁部8における外側面の、キーシリングダ12と操作ボタン13との間には、凹部14が形成されており、該凹部14内にコーチョンブロック15が取付けられている。このコーチョンブロック15は赤色をしており、黒色をしたボックス本体4の左側周縁部8、及び黄色をしたボックスカバー5の左側周縁部7と色彩を異ならせ、目立つようにしてある。

【0020】また、このコーチョンブロック15の下端位置は、正規の閉状態におけるボックスカバー5の左側周縁部7と、同一の高さとなっている。従って、ボックスカバー5が正規位置まで完全に閉じられた状態では、コーチョンブロック15が外側に露出することはない。

【0021】しかし、ボックスカバー5の閉状態が不完全で、ボックスカバー5の左側周縁部7が正規位置よりもしだけ浮き上がった状態になると、その分だけ、該左

側周縁部7の下側にコーチョンブロック15が露出することになる。従って、このコーチョンブロック15が外側から見えることにより、ボックスカバー5の閉状態が不完全であることを確実に認識することができる。

【0022】しかも、コーチョンブロック15がロック構造の近くに取付けられているため、ボックスカバー5の不完全な閉状態を、より正確に認識することができる。

【0023】更に、ボックス本体4の左側周縁部8に形成した凹部14内に、コーチョンブロック15を取付けたため、コーチョンブロック15の外側への突出量が小さくなり、ボックスカバー5の左側周縁部7とボックス本体4の左側周縁部8との間の隙間を小さくなり、ルーフボックス3の密閉性が向上する。

#### 【0024】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、ボックス本体の他端側周縁部の外側面に、正規の閉状態におけるボックスカバーの他端側周縁部と同一の下端位置を有するコーチョンブロックを取付けたため、ボックスカバーの閉状態が不完全で、ボックスカバーの他端側周縁部が正規位置よりも浮き上がった場合のみ、その他端側周縁部の下側にコーチョンブロックが露出することになる。従って、このコーチョンブロックが外側から見えることにより、ボックスカバーの閉状態が不完全であることを確実に認識することができる。

【0025】請求項2記載の発明によれば、コーチョンブロックがロック構造の近くに取付けられているため、ボックスカバーの不完全な閉状態を、より正確に認識することができる。

【0026】請求項3記載の発明によれば、ボックス本体の他端側周縁部の外側面に形成した凹部内に、コーチョンブロックを取付けたため、コーチョンブロックの外側への突出量が小さくなり、ボックスカバーの他端側周縁部とボックス本体の他端側周縁部との間の隙間を小さくすることができる。

【0027】請求項4記載の発明によれば、コーチョンブロックの色が周囲の色と異なるため、目視による確認が行い易くなる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施形態に係るルーフボックスを示す斜視図。

【図2】ボックスカバーの完全な閉状態を示す側面図。

【図3】ボックスカバーの不完全な閉状態を示す側面図。

【図4】図2中矢示S A-S A線に沿う断面図。

【図5】図3中矢示S B-S B線に沿う断面図。

#### 【符号の説明】

1 ルーフ

3 ルーフボックス

4 ボックス本体

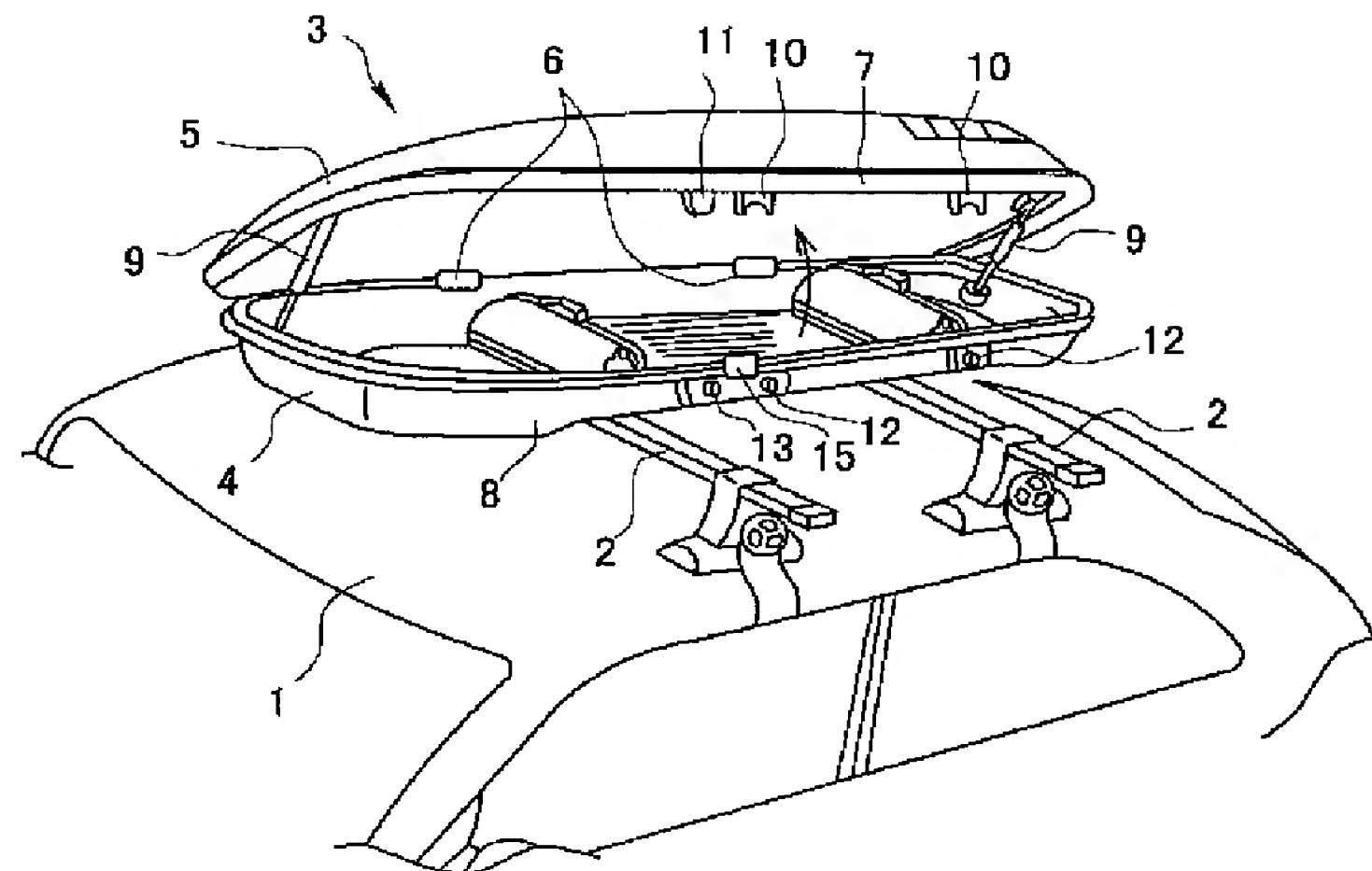
5

5 ボックスカバー  
6 ヒンジ  
7 左側周辺部（ボックスカバーの他端側周縁部）

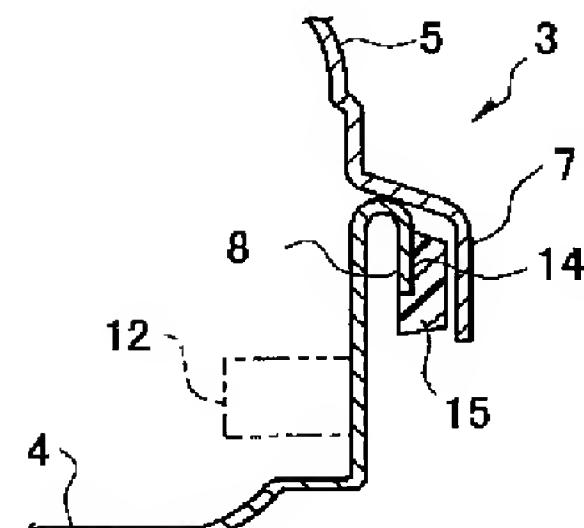
6

8 左側周辺部（ボックス本体の他端側周縁部）  
14 凹部  
15 コーションブロック

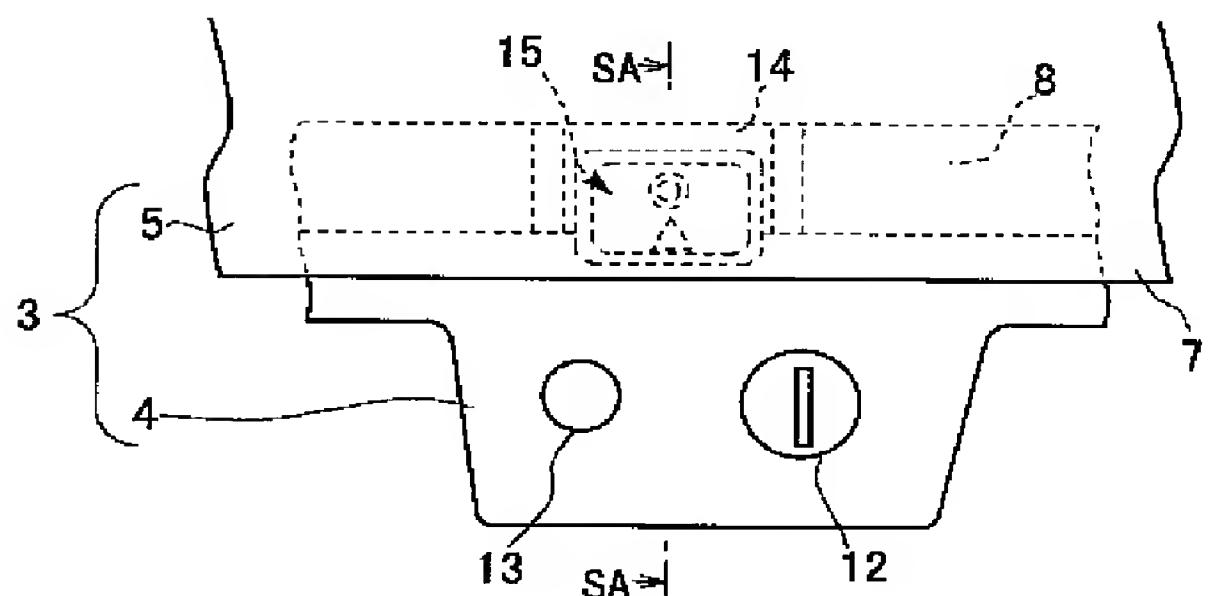
【図1】



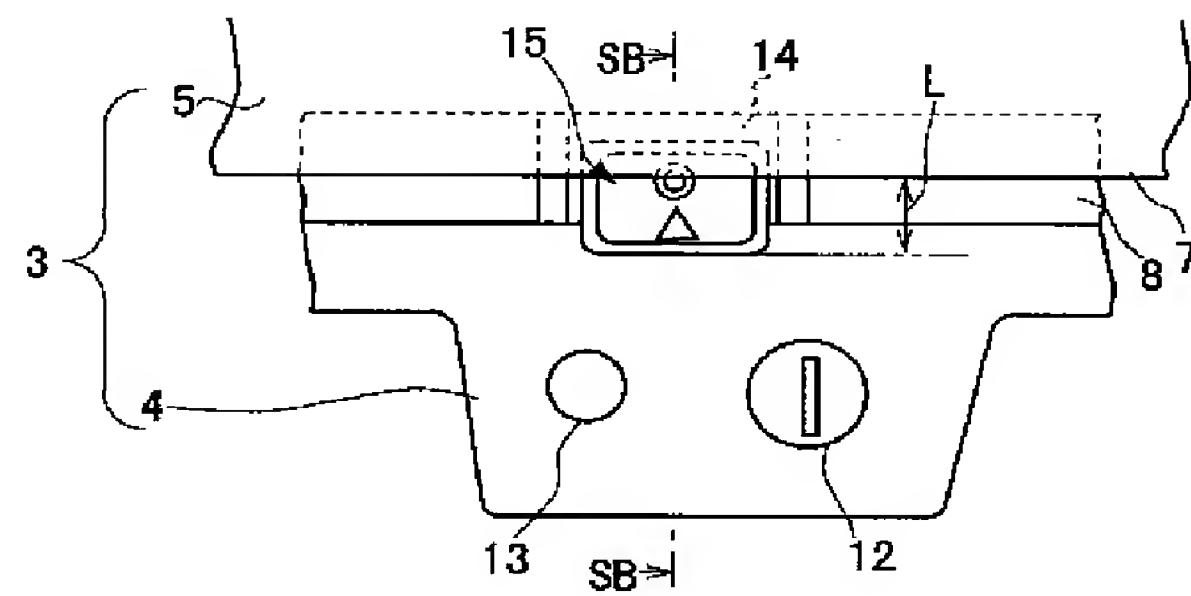
【図4】



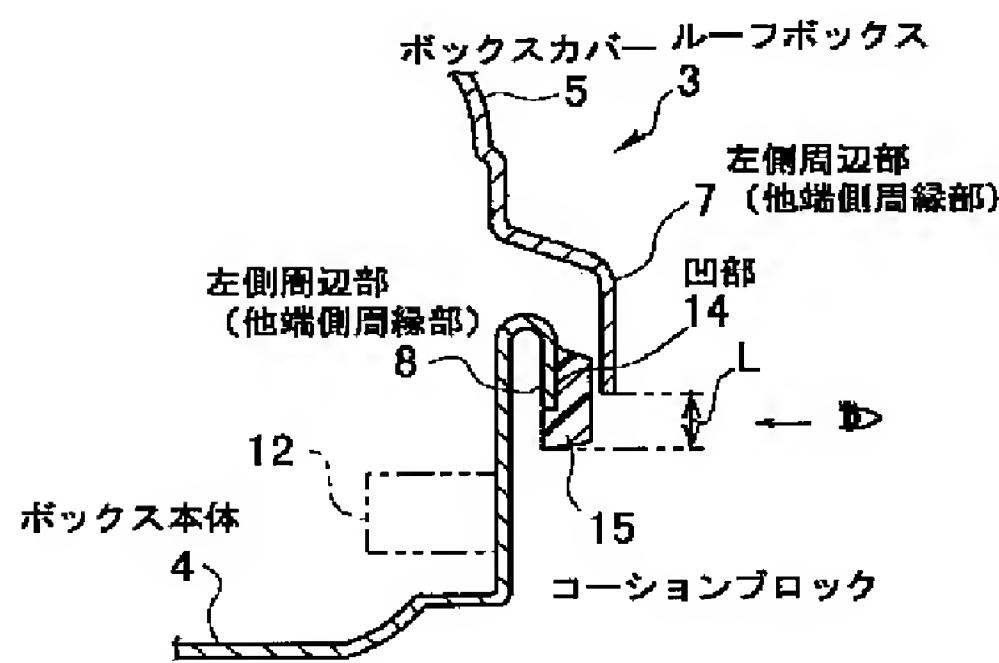
【図2】



【図3】



【図5】



**PAT-NO:** JP411129825A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 11129825 A  
**TITLE:** ROOF BOX FOR AUTOMOBILE  
**PUBN-DATE:** May 18, 1999

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
KAMAYA, MASASHI	N/A
KANI, GEN	N/A

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
PIA KK	N/A

**APPL-NO:** JP09302105  
**APPL-DATE:** November 4, 1997

**INT-CL (IPC):** B60R009/055

**ABSTRACT:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a roof box for an automobile wherein an incompletely closed condition of a box cover can be surely recognized.

SOLUTION: In an outer side surface of the other end side peripheral edge part 8 of a box main body 4, a caution block 15 having the same lower end position to the other end side peripheral edge part 7 of a box cover 5 in a regular closed

condition is mounted, consequently a closed condition of the box cover 5 is incomplete, only in the case of the other end side peripheral edge part 7 of the box cover 5 floating up from a regular position, the caution block is exposed in a lower side of this other end side peripheral edge part 7. Accordingly, by viewing this caution block 15 from an outer side, insufficiency of a closed condition of the box cover 5 can be surely recognized.

COPYRIGHT: (C)1999, JPO